

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」  
 アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」  
 西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---  
 京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---  
 メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

クラブ主題  
語り合おう  
ワイズで  
思いやり 笑顔

会長 金丸 太一郎  
 副会長 三村 良行  
 書記 古川 安雄  
 会計 小泉 洋



どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。

ルカによる福音書 第16章13節



## 「いろんなクラブが創れたらいいな」

東京センテニアルクラブ 西村隆夫

今の世の中、テレビをつけるといつもお笑いタレント達がでますね。そういう関西生まれの私も若い頃は吉本新喜劇をみないで一週間がはじまらなかった事を考えると今も昔も同じという事でしょうか。そのタレントという言葉は新約聖書の原語、ギリシャ語で【タラント】は英語で【talent】ということばで、マタイ福音書 25章14-30節にでてきます。英語の【talent】日本語の辞書には【才能】【能力】等の意味で載っていますね。この聖書の箇所では、持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられるという、なにか納得いかない様な話ですが、我々一人一人が供えられた才能や能力を生かさず生きていくのではなく、そのタレントを生かして生きてゆく事で、聖書的には愛し合う能力をタラントにたとえているのでしょう。

1922年にワイズメンズクラブがアメリカで誕生して以来、その運動は世界に広がっていきました。その国の経済状況や社会成長や国の時代背景によって伸び方があきらかにちがっていたと思います。ワイズメンズクラブまたはYサービスクラブのような国際奉仕クラブに入会したいと思う動機、興味も同じように社会・経済状況によって違うと思います。この運動が始まったアメリカではどんどんワイズの数が増えてきています。簡単に高齢化だと論じる事は危険ですが、ワイズという組織、形を継続する事が大切になり、パートナーであるYMCAは事業拡大していき、その関係も疎遠になったクラブも多いと思います。20年、30年前に入った人はクラブの仲間と親しい交わりができていて新しい人を見た時には閉鎖的なクラブに見えてしまうのではないのでしょうか？ 最近、国際でもイメージ調査がおこなわれ、これから外部のコンサル会社の分析もされる予定です。日本でも地域的に広がっていきましたが、まだまだワイズやYMCAのない地域があります。

新しいクラブを作るのは大変な努力と情熱が必要ですが、親クラブと同じようなクラブを作るという方法でなくてもよいのではないかと思います。ワイズのメンバーは色々な趣味や研究や特技を持っている方が多くおられます。鉄道趣味のてっちゃん、ゴルフ、カメラ、ダンスなどなど挙げればきりがありませんが、趣味の世界は楽しくて、喋りたくて、人の話を聞きたくて、一緒に練習したり、競ったり、本当に時間を忘れる仲間が毎週でも集まりたいと思うくらいです。ワイズメンズクラブはどうでしょうか？ なにか義務で役割をやっていて、毎回新鮮な思いや感動があるのでしょうか？ もちろんゲストスピーカーの貴重な話は欠かせませんし、活発なクラブは素晴らしい運営をされています。趣味の集まりはワイズでない、と言ってしまうのは簡単ですが、基本にワイズのミッションを理解し、どのような形であっても、YMCAとともに社会・コミュニティーに貢献できるアイディアは必ずあるはずですよ！考えてみるだけでも楽しくなりませんか？

### 4月例会案内

**6日(木)**  
**AEDの使い方**  
 京都市北消防署のご協力を得て、AEDの使い方を学びます。30分例会時間を延長。

**16日(日)**  
**チャリティーラン**  
 今年も鴨川公園で、チャリティーランに参加して盛り上がりましょう。

例会出席	
4月第1例会	11名
4月第2例会	13名
在籍者数	16名
出席率	86.7%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	28,050円

ニコニコ	
4月第1例会	0円
4月第2例会	1,000円
累計	80,000円

ファンド	
	0円
累計	307,965円

強調  
月間

### Leader Training

「ワイズ読本」を活用して、クラブ内新入会員及び新たな役職につく会員への的確な研修を持ちましょう。研修しあうことから新たな学びが与えられます。

西日本区理事 鈴木 誠也





今期も、4月に例会振替のファミリー例会が4月4日にありました。当日は、春雨と花冷えの夜が続いていた天候を考えると、良い天気にも恵まれ絶好のお花見日和となりました。今回は三重県の長島へ花見と温泉を満喫しようというタイムリーな企画となり、メンバー11名、メネット7名、コメット2名、メンバー候補ゲスト1名の総勢21名が参加されました。

京都駅を午前9時にチャーターバスでナガシマリゾートに向けて出発しました。出発後すぐに、金丸会長の挨拶があり、続いて添乗員より行程の説明がありました。飲み物等が配られ、そのバスの後部席とかはサロン風になっていて楽しい語らいの場となりました。そして森委員長より、メンバー候補ゲストの紹介がありました。スポンサーは北野ワイズで、何と女性でした。私は、集合した時点では、北野ワイズのガールフレンドかなと思いましたが、案外、思い違いじゃないと時間が経つにつれて、その思いは確信に変わりましたが...

高速道路は行楽シーズンの日曜日ということで、結構込んでいましたが、11時過ぎには「なばなの里」に到着しました。“長良川の水辺の夢のような小さな村”というキャッチフレーズの通り、春の暖かな日差しのもと、ソメイヨシノやしだれ桜などの桜、キクモモ、チューリップと春らしい光景を堪能しました。しかし、ゆっくりするには時間が余りなくてベゴニアガーデンに直行し記念の集合写真を撮り、そして里内を一周しました。メネットさん達は、もっと見て回りたいかった様でした。今日は私の亡くなった母の誕生日。その母も花が好きでした。私は一瞬でしたが花を見て感慨にふけりました。

次に15分位またバスに乗って、昼食場所の長島温泉「湯あみの島」に着きました。食事は個室でとったのですが、大広間ステージのアトラクションの演歌ショーをBGMとして聞きながらの楽しい食事となりました。個室といっても広間なので、小野ワイズの元気なコメット2人は走り回ったりして、いいアクセントになっていました。やはり、もっと多くの子供達と一緒に、もっと幸せ感が増したことでしょう。

食後はフリータイムとなり、「湯あみの島」にて入浴、遊園地の「ナガシマスパランド」、アウトレット「ジャズドリーム長島」でショッピングと、皆さんそれぞれ楽しめました。食事の部屋から望めた人気の最高速度153km/hスーパーコースター「スチールドラゴン」は、遊園地に行かれた小野ワイズから連絡があり、待ち時間1時間半ということで乗って見たかった方も諦めがついた様でした。

そして楽しい例会も帰路時間となり、皆さんのそれぞれの顔、にこやかな笑顔、湯上りのすっきりした顔、多少お疲れぎみの顔と共に、バスで一路、京都へと向かいました。京都駅にはほぼ予定通りの午後7時に着き、無事解散となりました。ドライバー委員会の皆様、楽しい一日をありがとうございました。



去る4月4日(日)、年に一度のファミリー例会に家族総出で参加。晴天にも恵まれ、興奮する子供達を引き連れて集合場所の京都駅へと向かう。AM9:00、貸切バスに乗り込んでいざ長島温泉方面へ出発。家族4人でバス後方のサロンシートを陣取らせてもらう。子供達も始めて経験する貸切バスの旅とサロンシートに感動の様子。数回の休憩を挟んで約2時間後、最初の目的地【なばなの里】に到着。

多くの観光客で賑わう【なばなの里】。ゲートの向こうは花、花、花。手入れがゆき届いた草花は、訪れた人々を魅了する。でも、その美しい草花も子供たちにとっては格好の【遊び相手】。手当たり次第に花を摘もうとする子供たち。その制止に手を取られゆっくりと鑑賞でき

なかったのが少し残念・・・。

続いて最終目的地の【長島温泉湯あみの島】へ。昼食もそこに、長島スパランド遊園地へと出発。子供がまだ小さいので名物のジェットコースター類には搭乗できないが、その他の細かいアトラクションが豊富。4歳児以下でも十分楽しめる内容で、子供たちも大変満足。やはり、心配していた【帰りたいくない病】を発症し、泣きじゃくる子供達を引きずりながら温泉へ。

今回のファミリー例会で一番の楽しみにしていた温泉。事前に予約していた家族風呂。泣き疲れた子供たちも温泉に浸かって元気を取り戻し、となり家族風呂へと突入する始末・・・。

盛り沢山の内容で、大人から子供まで楽しめる内容のファミリー例会。終始、子供たちに翻弄されましたが、とても楽しめました。企画して頂いたドライバーの皆様ならびに、いろいろと面倒を見ていただいたメンバーの皆様に感謝します。。来年、子供たちの成長に期待し、少しでも【ゆっくり】と楽しめられたらと思います。







ゲストスピーカーに御所人形師五世、島田耕園様をお迎えし、メネットも参加しての例会でした。

御所人形の歴史は、約1200年前平安時代、宮中で吉祥、厄除けの物として人型にし、愛でていたのが始まりとのこと。良い材料、道具が揃わない今の時代、伝統文化、技術を継承されている事に敬服いたしました。今後、人材の育成は出来るが、人形を理解し、育てて行こうとする社会、バックヤードが乏しいと訴えておられました。それを改善するには、まずは教育、学校の教育ではなく、社会・家庭での教育が大事との話は、全く同感であります。

YMCAをサポートするワイズメンズクラブとも同調する話として、心に留め置き、ワイズメンとして精進して行きたいものです。



食事の後、島田耕園様のスピーチを五つのパートに分けお聞きする事になりました。御自身の人形制作との関わりからお話はスタート。

1) 歴史について、400年余りの歴史を持ち、当初は宮中の愛玩として、四頭身丸顔の白い男子の稚児（ぼっちゃりした愛らしい子供の顔）から300年前後から三頭身になり、大名の土産品として重宝、大型化されと続く。200年以前のかな文字の文化、きらびやかな文化の中で御所人形の持つ意味も、その時代と共に歩んできた様子を教えていただきました。

2) その技法、製法についても細かく、その製法工程が目の前に浮かんでくるようです。元々桐の木の中心をくりぬいて、胡粉（牡蠣の粉）に膠を混ぜて、地塗り、中塗り、上塗りを重ねて最後に顔を書いて仕上げるその様子が、その可愛い御所人形の顔かたちに見ることが出来ます。

3) 人形を作る事については、製作者の心の表現でもあり、その中心は元気な子供の成長を願っておられる様子が、アピールされているとのことでした。

4) 道具や材料については、特に原材料となる和桐や貝（牡蠣）、良質の膠の入手難に始まり、道具として大切な筆やハガネも年々入手が難しくなっているとのこと。

5) 後継者育成については、今のところそう問題は無さそうですが、特にこのような伝統文化、産業をいかに次の時代に守るだけではなく、育てられて行くか、その社会全体のあり方が大切で、そして重要な問題ですと、スピーチを締めくくられました。

雅な世界に一時、心ほっこりした良い例会の時間を過ごせました。



## リトセン夜桜フェスタ

2010年4月18日  
小野 敏明



昨年に引き続き、家族で参加させて頂く。子供達も昨年のフェスタをよく覚えていて、数日前から【キャンプ場、キャンプ場】と騒ぐ始末。子供の目当ては【屋台】と【川】と【木に括り付けられたロープ登り】。午前の用事を済ませ、4時過ぎにリトセンに到着。満開の桜を期待したが、残念ながら今年は4分咲き程度。確かに、4月の気候を考えると仕方がない結果。到着と同時に車から飛び出した子供たちは一路【ロープ】へ。ロープの次は川、川の次はキャンプ場探検と一頻り遊んだ頃に【屋台】登場。待ちに待った屋台。その献立も例年以上に凝っていて、中には【チーズフォンデュ】や【串かつ】、【天ぷらうどん】まで種類が豊富。

今年は日本語学校の生徒たちも参加とあって、席が無いくらいの人数。どの屋台も大盛況。お目当ての屋台などは早々に売り切れてしまうくらいの盛況ぶり。なんとか、獲得した【天ぷらうどん】も天ぷらの品切れにより【月見うどん】に格下げ・・・（なんとか串かつは4つ獲得！）。太鼓やダンスなどのアトラクションを楽しみながらの食事。前菜から主食、デザート、おやつまで頂いたあとは、子供の誘いに乗ってロープ・川・探検の繰り返し。確かにリトセンは都会ぐらしの子供にとってはとても新鮮な空間。時間を忘れ、ハシヤギ廻る子供たちの姿はやっぱりイイ。

大変賑やかだった今年の夜桜フェスタ。桜は残念だったが、やはり参加者が多いフェスタは楽しい。ピジターとしてお邪魔するのも楽しい。でも、屋台を出すなど積極的に参加すればもっと楽しめるのでは？と感じたフェスタでした。

## 東京サンライズクラブからの報告 (小山久恵より)

4月の第二例会は原さん宅で potluck party をしました。最近では男性もお料理なさる方が多く、大谷さん自前の筍御飯や、ホストの原さんがイタリア料理教室で鍛えた腕をふるったラザニアとビーフストロガノフが並びました。新入メンバーの内迫さんも奥様と友人を連れて来られ、また、委員会出席のため丁度上京していらした京都プリンスの岡西さんが途中から加わり、場が大いに盛り上がり、楽しい時間を持ちました。メンバーのお宅訪問というのもなかなかいいものです。



4月2日(金)午後8時~11時まで滋賀県近江八幡市にある京都YMCAサバエ教育キャンプ場において星空観望会が行われました。参加者はプリンスワイズメンズクラブの5名、アウトドアクラブのリーダー3名、スタッフ1名の計9名。夕方ごろにちらついていた雲は、時間が経つにつれ少しずつ晴れてゆき、だんだんと星々がはっきりと見えるようになっていきました。

午後8時、辺りはすっかり暗く空も静かに晴れ渡り、西の空にはオリオン座が綺麗に見えます。赤道儀をモーターで動かし、天体自動導入装置の設置された望遠鏡を覗くと丸い球体に縦に串が刺さったように見える星があります。これは地球から見える土星の向きが変わり、土星

の輪を真横から眺めたため、串に刺さった団子のように見えるもので、なんと15年に1度の現象だそうです。しばらくその珍しい土星の姿を堪能した後はふたご座の2つの1等星「カストル」と「ポルックス」、ぎょしゃ座の1等星「カペラ」、ふたご座の近くには火星も見え春の夜空を堪能しました。

この日の夜の気温は3~5度、体も冷えてきた頃予め準備しておいたおでんが登場しました。冷えた体にはかほかのおでんの登場はとても嬉しく、みんなでおでんを囲みわいわいと盛り上がりました。おでんに体を温められ、続いて観測した星は北斗七星の柄の先から2番目の星「ミザール」という星でした。よく見てみるとミザールのすぐ横に寄り添っている小さな星があります。「アルコル」という星です。この「アルコル」、昔は肉眼での識別をして視力検査として使われたり、あるアニメでは「死兆星」と言われたりした星でもあります。他にも東の空低くには牛飼座の「アークツールス」が明るく輝き、南の空には1等星では最も明るいおいぬ座の1等星「シリウス」も見ることができました。

天気に恵まれ多くの星を観測し、集まった人々と有意義な時間を過ごすことができたことに感謝すると共に、これからもこの星空観望会が多くの人と楽しめるようにと願います。また、リーダー達にとって、ワイズの方々との交流できるこのような機会は、野外とは違うYMCAの一面を見ることのできるとても貴重な経験となります。今後もこのような機会が増えてゆくことでリーダーとしての幅が広がっていかればと思います。



## 仁科保雄次期西日本区理事励ます会

2010年4月24日  
連絡主事 神崎清一



この7月から西日本区理事として就任される仁科保雄さんを励ます会が、ホームクラブの京都キャピタルワイズメンズクラブの方々のご準備によって、私たち京都部のメンバーを中心に西日本区ならびに東日本区からも集まれ、参加者120名を越える盛大でかつ心温まる会が催されました。

キャビネットならびに主任紹介も、各ワイズメンのお人柄とチームワークの良さが伺えました。理事経験者であり、良き先輩である岡本尚男ワイズ、森田恵三ワイズからの励ましもいただき、次期に向けて、国際大会に向けてのキックオフといってもよい時間でありました。他の部から来られたスピーチにもありましたが、他の部会サイズの参加者数であり、まさに「歌えば心ひとつにともがき広がりゆきて」立つやワイズメンという気持ちを新たに、次期京都部長坂田ワイズを筆頭にして京都部で仁科さん(ご夫妻)のお働きを皆で支えましようと言葉がされた会でもありました。

プリンスクラブ参加者 金丸・廣井・西堀・小泉・岡西各ワイズメン、西村メネットと私神崎でした。



## メンバー自己紹介コーナー 三村 良行です



今年48歳、去年は親父の死去、仕事中のけがなど色々な出来事が突如として訪れ一時期はワイズどころではなかった1年でした、今年に入り仕事もほぼ復帰できて日々の生活も落ち着き改めてワイズの活動や他の活動を楽しむことができ感謝しています。けがの影響で以前ほど動くことが少なくなり体重のほうは7キロオーバー、元の体重にいかんして戻すことができるのかを現在模索中。良き方法があればメンバーの皆さんご伝授ください。ワイズに入会した年に生まれた下の子ども無事高校を卒業し現在は建築の専門学校生、上の子は社会人二年生、もう少し子育ては続きますが子供たちの成長が楽しみな日々です。今後とも家族ともどもよろしくお願ひします。





私の職場には実に多くの外国籍の方がいます。中国・韓国・台湾・モンゴル・フィリピン・ベトナム・スリランカ・イラン・ラオス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・ドミニカ共和国などなど・・・、その方々との会話は英語か日本語、たまに韓国語とスペイン語を使いますが、多文化共生社会の実現をビジョンの一つに掲げている京都YMCAではまさしく多文化共生状態の職場です。私の仕事は日本語学校と英語学校の運営、そして国際交流・協力事業の推進です。日本語学校のお仕事では日々、様々な国籍の留学生に関する学生生活のトラブル処理に追われます。問題を解決するためにはなぜそのような問題が起こるのかという各国学生の価値観の違いを理解しなければ問題を処理できません。

英語学校の運営では英語圏外国人講師を雇用しています。これまた価値観の違いを理解しながら、勤労意欲のアップと適切な業務評価をしながらよい関係を維持しなければなりません。そんな日常を過ごしながら突然やってくる世界各地で起こる災害や紛争、すぐにYMCAネットワークを利用し、情報収集と募金等支援策の立案にかかります。常に思考回路を柔軟にしておかなければ、「何でそうなるの？」「どうしてそうするのか？」と拒絶してしまい、軽いカルチャーショックのために物事を受け止められません。帰宅時にはどっと疲れがでます。多文化共生社会とはなんと疲れる社会なんだろうと思うことも多々あります。しかし、そんなことを日々繰り返していると、自分自身の包容力や思考の柔軟性が向上していることや、対応力・適応力も向上し、世界中の出来事に敏感になり、情報収集する感性が研ぎ澄まされていくことが実感できます。このような能力が身につくのはYMCAの今の環境があるからで、一度きりの人生、よい経験をさせていただいていると感謝です。どうぞ、皆さんも三条本館にお越しの際は「小さなグローバルコミュニティ」「It's a small world」が存在することをご確認いただければ、また違ったYMCAが発見できるのではないかと思います。

## YMCA NEWS

京都YMCAは2010年秋に、新しい公益法人として申請すべく準備を進めています。

これは、皆様ご存知のように一昨年11月に施行された法律に基づき、公益財団としての形、主には定款をあらたに定める必要がありますが、YMCAがこれまで大切に、これからも大切にしますので「会員自らが主体的に参画する組織」として、現在タスクチームなどにおいて規定等を精査しています。ここ数年、会員集会をはじめとして皆さんと協議を重ねてまいりましたが、これまでの皆さんのご意見を参考に会員組織や役割など新たな形を模索し提案してまいります。今後発信いたしますご案内、会員集会などご参考にご意見、ご理解を賜りますようお願いいたします。

### 1. 定期会員総会のご案内

日時 5月29日(土) 京都YMCA三条本館マナホール  
 会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。  
 お問い合わせ 電話(075)231-4388

### 2. 京都YMCA国際理解シリーズ 被災地ハイチをもっと知ろう

京都YMCAでは、多くの皆さんと、多文化共生・地球市民として、「私たちに何ができるか」を考える国際理解講座を開催しています。今回は、1月に大地震と津波に見舞われた、ハイチご出身のディオジェンさんから、ハイチの文化や社会について学びます。ハイチの素晴らしさやそれと同居する課題がどのようなものかを知る事は、災害復興支援の前提でもあるでしょう。ハイチを様々な側面から知ってみませんか？

講師 ピエールマリ ディオジェン氏 (ハイチの首都ポルトランス出身・大阪在住) 参加費 無料  
 日時 5月22日(土) 午後2時～3時30分  
 場所 京都YMCA(三条柳馬場) 電話(075)231-4388  
**YMCAサマープログラム参加者募集!**

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

#### キャンプ・デイキャンプ 受付日

会員 6月8日(火)～9日(水) 受付時間 10時～19時

会員・一般 6月10日(木)～ 受付時間 10時～19時

電話(075)231-4388(お問合せも左記電話まで)

会員先行申込み期間に限りFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。FAX(075)251-0970

Eメール campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

### 短期集中スイミングスクール・鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月11日(金)午前10時～

会員・一般 6月11日(金)午後2時～

電話(075)255-4709(お問合せも左記電話まで)

### 2. 第6回京都YMCAかもがわチャリティーラン 参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時 5月16日(日)午前9時～午後3時 雨天決行

場所 鴨川公園(特設コース: 北大路橋～出雲路橋 1週 1.7km / 北大路橋～出町橋1週5.1km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2000円) / グルーパン・ファミリーラン(1チーム5000円) / 一般駅伝・クォーターマラソン(1名3000円: 学生・生徒1名1000円) / ペアラン(1チーム1000円)

スポンサー募集: 一口1万円(企業・団体) / 5千円(個人)

物品寄付: 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

お問い合わせ 電話(075)231-4388

## Happy Birthday

May

17日 三木 貴夫 ワイズ

## 今月のスケジュール

5月

6日(木) 第一例会 グランドプリンスH  
 16日(日) 第二例会 鴨川チャリティーラン  
 22日(土) EMC懇親会 宇治リトセン  
 ～23日(日) 次期役員研修会 宇治リトセン  
 26日(水) 役員会 京都YMCA

## 役員会報告

<承認された議案>

5月第一例会、30分延長  
 EMC懇親会 & 次期役員研修会登録費3,000円  
 東日本区大会登録費半額補助(総額5万円まで)  
 交流委員会費より拠出  
 国際大会登録費2万5千円補助